

# みなみ公民館だより 9月号



令和6年9月1日 発行

蕨市立南公民館 蕨市南町 2-23-19 TEL 048-442-4055 • FAX 048-443-0761

No.416



## 南公民館 プランターファーム講習会開催!



10月7日(月) 13時40分より、プランターファーム講習会を開催します!

ご自宅で野菜を育てたい方向けに、プランターを利用した野菜の育成方法を説明いたします。

参加費無料です!



対 象 : 蕨市民の方

申込期間 : 9月3日(火) ~ 20日(金)

申込方法 : 南公民館(平日 8:30~17:15)

窓口または電話



※持ち物は、軍手・汚れていい服装・シャベル(ある方)です。

※当日、一人一つプランターを配布しますので、お持ち帰りください。

## 蕨市ふれあい交流宿泊費助成制度(生涯学習スポーツ課より)

### ◆蕨市ふれあい交流宿泊費助成、ご利用を

助成額は1人1泊1,500円(上限)で、1年度に2泊が限度。従来の群馬県片品村と栃木県大田原市に加え9月以降は山梨県笛吹市も追加。対象は宿泊時点で住民登録のある人。利用方法など詳しくは市のホームページや公共施設にありますチラシ等でご確認ください。

問い合わせ・申請先は生涯学習スポーツ課(Tel048-433-7729 直通)

## 講座のご案内

### ◆にこにこ ONE TWO KIDS!

日時 9月19日(木) 午前10時~  
場所 南公民館 2階団体連絡室  
対象 1歳児・2歳児のお子さんと保護者  
定員 8組(先着順)  
申込 9月2日(月) ~ 電話・メール可



### ◆小学生~高校生の点字入門教室

日時 9月14日(土) 午前10時~  
場所 南公民館 2階団体連絡室  
対象 市内の小学生~高校生  
※事前にお申込みが必要です。  
申込むと3月まで毎月参加できます。

### ◆0歳児ママのふれあい広場

日時 9月26日(木) 午前10時~  
場所 南公民館 2階和室  
内容 親子で遊ぼう!  
定員 10組(先着順)  
申込 9月2日(月) ~ 電話・メール可  
※赤ちゃんの下に敷くバスタオルをご持参ください。



### ◆おはなしくまさん

日時 9月21日(土) 午後2時~  
会場 南公民館 2階和室  
内容 絵本の読み聞かせや工作  
※今月は「牛乳パックを使って」です。

## くるみ保育園

～水に触れて楽しむ色水・シャボン遊びやプール!!～

園長 加藤

思いっきり体を動かして、夏ならではの遊びが満喫できるような年齢に  
応じて計画を立てています。

先日2歳児クラスが、泡遊びをし全身泡だらけ♪もこもこ・ふわふわ  
した感触を楽しんでいました。

最近では、水に触れた時の”ひんやり”とした感覚があまりないのも  
温暖化の影響なのでしょうかね。

しかし子ども達の大好きな水遊びを通して、楽しさや気持ち良さを友達  
や職員に伝え合いながら共感したり、ルールを守る大切さとして水の危険  
や熱中症に気をつけ遊べるようにしていきたいと思います。



### 河鍋暁斎記念美術館 2024年9月展覧会

#### 企画展 暁斎・暁翠 風景画 展

#### 同時開催 たちはらいぬき 立原位貫 復刻版画展

※新型コロナウイルスの感染防止対策等により、予定が急に変更される場合がありますので、最新の情報は美術館のホームページでご確認ください。 <http://kyosai-museum.jp>

会期：2024年9月1日（日）～10月25日（金）

休館日：毎週火・木曜、毎月26日～末日、年末年始

入館料：一般 600円、高校生・大学生 500円、小・中学生 300円、65歳以上 500円

第1・2展示室で暁斎と娘の暁翠が描いた風景画展が開催されています。幕末に描いた東海道名所絵や明治の文明開化期にできた新名所、暁斎と娘の暁翠が実際に訪れた地の写生図などをご覧ください。

第3展示室の特別展は、現代の浮世絵師として活躍された故・立原位貫（1951～2015）氏の復刻版画の中から、暁斎の最初の師匠だった歌川国芳の作品を復刻した版画をご鑑賞いただきます。

#### 【今月のお勧め作品】

『暁斎画談』外篇卷之上より「信州戸隠山荒倉山之図」

暁斎 明治20年（1887）刊 瓜生政和編 岩本俊出版 版本

暁斎の生涯と、暁斎が学んだ様々な流派の作品について暁斎が挿絵を描き、瓜生政和が編集した『暁斎画談』。その外編には、暁斎が慶応元年（1865）に半年ほどかけて信州を遊歴した時の逸話と旅の情景を描いた挿絵が掲載されています。

山の景色を直に見て写生をするなら信州がよいと考えていたという暁斎の述懐通り、『暁斎画談』には本図のような険しい山々の写生図の他、頼まれて戸隠神社中社の龍の天井絵を描いた時の話などが挿絵と共に紹介されています。

